

## 4年2組の実践

### 1 学年のテーマ

「自分の思いや考えをもち、友達と伝え合いながら自分の目標を達成しようと進んで取り組む子ども」

### 2 実践の方法

#### (1) 教科と単元

理科「雨水のゆくえ」（10時間完了）

#### (2) 具体的な手立て

##### ① 結論に向けた話し合い

児童には毎実験後、考察を実験ノートに記入させる。それをロイロノートの提出箱に集約・共有し、班で話し合いながら問題に対する結論を考えさせる。各班が考えた結論から、その単元でおさえるべき結論にたどり着けるようにする。(協働的な学び)

##### ② 実験ノート

自分で学習計画を立てられるように「実験ノート」を活用する。実験の順番や回数、掛ける時間は自分で決め、何回も結果を確かめながら考察を記述する。(個別最適な学び)

### 3 公開授業の様子（6／10時間）



①「自分の学習計画に沿って、一人ずつ実験している様子」



②「結果を見比べながら、学習計画を修正する様子」